

いやしむるものに候間、成程身持を能仕るへき事

一一村の内にて耕作に精をいれ、身持をよくいたし、

身上よきもの一人あれば其まねを仕り、郷

中のものみな、よくかせくものに候、一郡の内

にて、さやうなる在所一村これあれハ、一郡

みな身もちをかせぎ候、左候へハ一国の民ミな

豊になり、其後ハ隣国までもそのひゞき

あり、地頭ハかハるもの、百姓ハ末代其所乃名

田を便とするものに候間、よく身持を致し、

身上よく成候は、百姓の大きなる徳分にてハ

これなく候や、扱又一郷に徒なる無法もの

一人あれハ、郷中皆その氣にうつり、百姓なか

まの言事たえす、

公儀の御法度など背候へハ、其ものを奉行